

第2回 利根川河口堰魚道改築懇談会の開催について

記者発表資料

「利根川河口堰魚道改築懇談会」は、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者による意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的としており、平成15年9月17日に第1回目の会合が開催されました。第1回会合では、現魚道の問題点を中心に議論がなされました。

第2回目の会合では、前回の議論を踏まえて魚道改築の基本方針案等について議論する予定です。

この第2回目の会合を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

開催日時 平成15年11月26日(水) 13:30～16:00

開催場所 鹿島セントラルホテル
住所：茨城県鹿島郡神栖町大野原4-7-11
電話：0299-95-5511

その他

- ・マスコミによる写真・テレビ撮影は、懇談会開催冒頭の挨拶までとし、審議中は非公開とさせていただきます。懇談会終了後に委員長と事務局による記者発表を行います。
- ・傍聴希望者に対しては、傍聴席をご用意していますが、会議中の発言はご遠慮ください。

平成15年11月19日

独立行政法人 水資源機構
国土交通省関東地方整備局

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	さいたま新都心記者クラブ	横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会	千葉県庁県政記者クラブ	茨城県庁県政記者クラブ
水資源記者クラブ	銚子市政記者クラブ	鹿嶋市政記者クラブ

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 利根川河口堰管理所
〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新宿2276
電話 0478-86-0477(代)
所長代理 : 解良 一夫
国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所
〒287-8510 千葉県佐原市佐原イ4149
電話 0478-52-6361(代)
工事施工管理官 : 川村 俊一
広域水管理課長 : 深沢 正彦

利根川河口堰魚道改築懇談会の設立趣旨

水資源開発公団 が管理する利根川河口堰の魚道は、昭和 46 年当時、魚道に関する知見を集約した最先端のものとして建設されました。しかし、管理開始から既に 32 年を経過し、近年の河川環境保全の取り組み、魚道技術の進展から、現魚道の機能向上を図る必要性を認識しております。

よって、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者による意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的として、利根川河口堰魚道改築懇談会を設立するものです。

平成 15 年 9 月 17 日

水資源開発公団は、組織変革に伴い、平成 15 年 10 月 1 日より独立行政法人水資源機構になりました。

利根川河口堰魚道改築懇談会規約

(名称)

第一条 本会は、「利根川河口堰魚道改築懇談会」(以下、「懇談会」という)と称する。

(目的)

第二条 懇談会は、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者の間で意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的とする。

(懇談内容)

第三条 前条の目的を達成するため、懇談内容は次の事項とする。

1. 利根川河口堰の現魚道に関する事
2. 利根川河口堰の魚道改築に関する事
3. その他

(懇談会の構成)

第四条 懇談会は、別表に掲げる委員により構成する。

(開催時期)

第五条 懇談会は今年度限りとし、年度内に三回開催することを原則とする。

(事務局)

第六条 懇談会の事務局は、独立行政法人水資源機構利根川河口堰管理所に置くものとする。

(規約改正)

第七条 この規約を改正する必要がある場合は、懇談会構成員の2 / 3以上の合意を得て改正することができるものとする。

(付 則)

- (1) この規約は、平成15年9月17日から施行する。
- (2) 平成15年10月1日の組織変更に伴い、水資源開発公団を独立行政法人水資源機構に変更する。

(別表)

利根川河口堰魚道改築懇談会委員構成

氏名	所属	備考
椎貝 博美 和田 吉弘 糠谷 隆 川名 順之	(社)日本河川協会会長 中部学院大学短期大学部 副学長 千葉県立大利根博物館学芸課長 千葉県農林水産部水産局漁業資源課主幹 兼 栽培推進室長	河川工学 動物生理生態学 河川環境(魚類) 水産行政
別井 一栄 福富 則夫 深山 正巳	茨城県農林水産部漁政課技佐 栃木県農務部生産振興課主幹 内水面 15 号漁協組合代表 手賀沼漁業協同組合代表理事組合長	水産行政 水産行政 水産関係者
斎藤 邦彦 椿 長雄 滑川 幸男 小沼 洋司 田代 行男 加藤 宏典 横山 茂	笹川漁業協同組合代表理事組合長 印旛沼漁業協同組合代表理事組合長 中利根漁業協同組合代表理事組合長 茨城県内水面漁業協同組合連合会専務理事 常陸川漁業協同組合代表理事組合長 栃木県漁業協同組合連合会理事 栃木県下都賀漁業協同組合代表理事組合長	千葉県水産関係者 千葉県水産関係者 千葉県水産関係者 水産関係者 茨城県水産関係者 栃木県水産関係者 栃木県水産関係者
池田 隆 泉田 武宏	国土交通省利根川下流河川事務所長 水資源機構利根川河口堰管理所長	河川管理者 (事務局)

: 委員長

利根川河口堰の概要

参考資料3



利根川河口堰

施設の概要

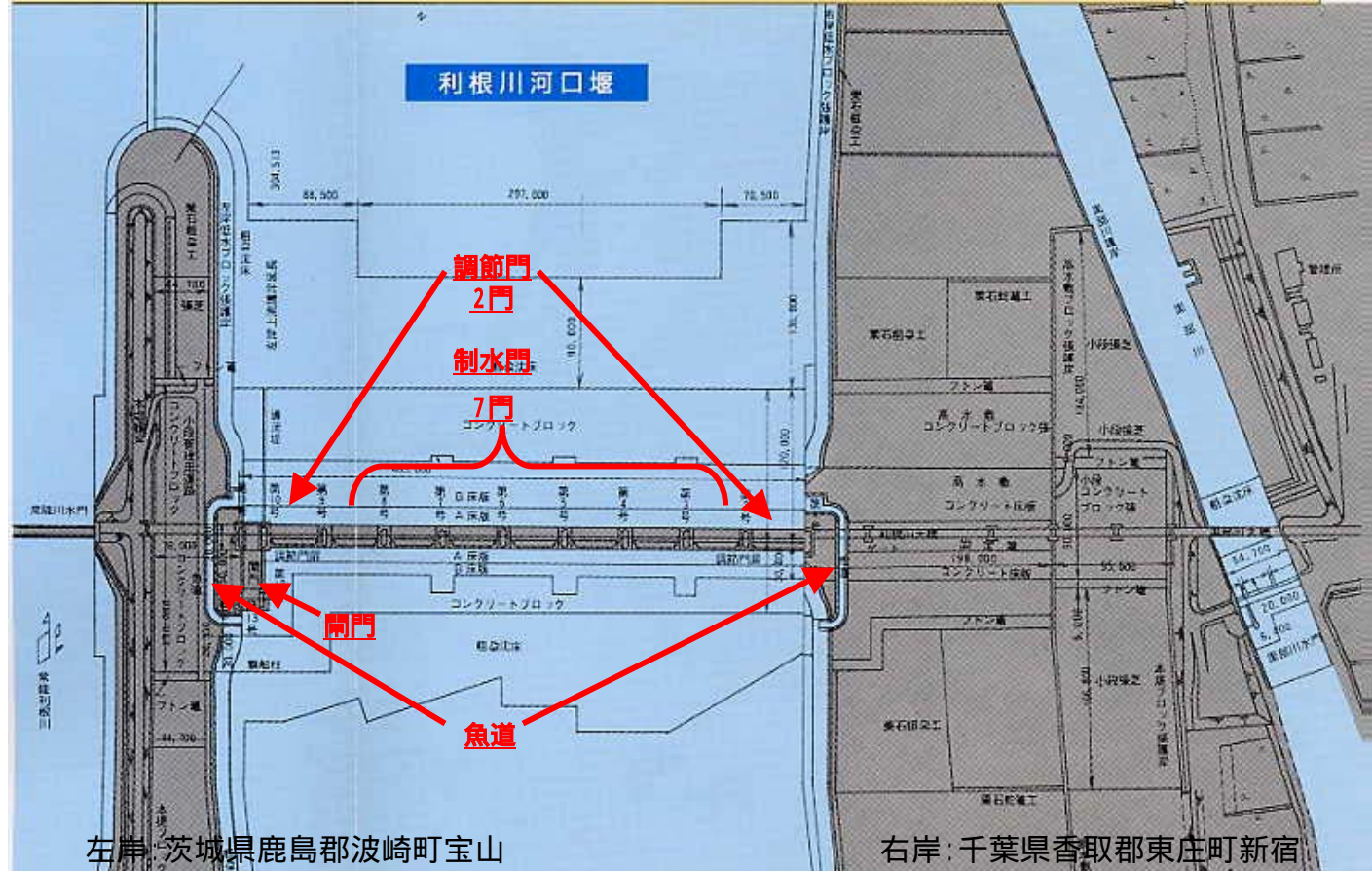
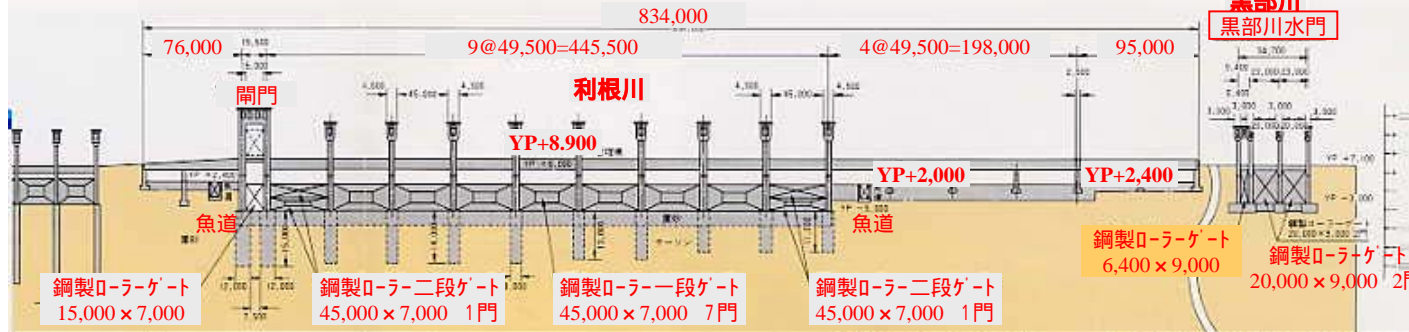
昭和40年12月 着工
 昭和46年 6月 竣功
 総工費 約125億円

<利根川河口堰>

総延長 : 834 m
 (可動部 465m、固定部 369m)
 ゲートタイプ : 鋼製ローラーゲート
 径間45m、高さ7m
 ゲート数 : 9門
 閘門 : 1ヶ所
 魚道 : 左右岸各1ヶ所

<黒部川水門>

総延長 : 54.7 m
 ゲートタイプ : 鋼製ローラーゲート
 径間20m、高さ9m
 ゲート数 : 2門
 閘門 : 1ヶ所



魚道

左右両岸に1ヶ所ずつ設置されている魚道は、呼び水式階段魚道と呼ばれるタイプの魚道で、幅は7.5m、7門のフラップゲートと7つのコンクリート隔壁を取り付けてあり、堰の上下流の水位差に関係なく一定の流速となるように調節し、魚の遡上を助けています。



ボラ遡上状況 (H11.5撮影)



ハクレン遡上状況 (H14.5撮影)



第 2 回利根川河口堰魚道改築懇談会 開催場所のご案内

鹿島セントラルホテル

(住所) 〒314-0144

茨城県鹿島郡神栖町大野原 4 - 7 - 11

(電話) 0299-95-5511



- 自動車 : 東関東自動車道 潮来インター下車
水郷有料道路経由 R124 と合流してすぐ右手
- 高速バス : 東京駅八重洲口 - 鹿島神宮駅行「かしま号」
鹿島セントラルホテル前下車
- 電車 : 最寄り駅 JR 鹿島線・潮来駅
駅よりタクシー